

山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第5号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、こども園、中学校、小学校においても日々、環境消毒、密を避けた机の配置、学習の工夫を行って参りました。夏休みを終えた現在の県内外の状況から、今後も継続して子どもたちの安全な環境を整えるために職員一同、努めて参りたいと思います。



本年度、野沢温泉学園では、本紙「山毛櫨(ぶな)の子野沢温泉学園だより」を月一回のペースで発行させていただいております。日常のこども園、小学校、中学校の子どもたちが、どんな教育目標のもと、どう暮らしているのか、少しでも地域の皆様にお伝えできればという願いのもと進めております。後半も引き続きよろしく申し上げます。



令和2年度 野沢温泉小学校の教育方針

学校教育目標

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

本年度「落ち着いた学校」「やさしい学校」「居場所のある学校」を目的とし、次の点を目標とした一年間を過ごしています。



図書館や各教室を消毒する先生たち

【日常の学校生活で大切にすること】

- 1 なぜ? どうして? それからどうなるの? の声を大切にした授業づくり(子どもの問いから展開する学習づくり)
- 2 納得して終わる授業
 - (1) わからないこと伝え合える仲間づくり
 - (2) ふりかえりをベースにした次の時間の見通し立て

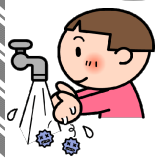
その為に
右具体項目
を実施することで
を実施します

○友だちと心を通わせること、認め合うことのよさを実感することで、人間関係の基礎を育てたいと願っています。

つなぐ

つながる

つなげる



- ・その日のことはその日のうちに
- ・困ったことは相談しあう
- ・否定的ではなく、建設的な対話を



誰にとっても大切な「居場所」を意識した教育を目指します

本年度の具体項目	①教科担任制の導入(新) 1-4年外国語 4-6年理科専科 5-6年国・算・理・英・音・家の教科制
	②特設スキー授業(継) 31時間開設
	③全学級ふるさと学習位置づけ(新) 地域の方々とつながる学習展開
	④英語学習の充実(継) 日常の英語化
	⑤異学年交流(継) 縦割り班活動 等
	⑥学び合い(新) グループ学習の充実

※(新)=本年度より
(継)=昨年までの継続実施

あさ 出会う子どもたち

一日が始まる朝…。

子どもたちは、どんな顔をして、どんな心持ちで登校してくるか…「今日も挨拶返してくれるかな？」などなど考え

ながら校門で子どもたちを出迎えます。



ねえ、固いでしょ！雪玉だよ



校長先生 ヤゴ見つけた！ 殻だけど…

ほんの僅かしか、紹介できないのが残念です。しかし、こうした出来事が朝の校門で行われています。時に、四つ葉だったり、クワガタだったり、冬ならカチカチの雪玉だったり、顔より大きい氷だったり…。ただ、ただそれだけの「出来事」だけれど、私は嬉しいのです。だって、きっと、道すがら、いろんなことを考えながら登校しているんだろう



帰りまでとっておけるかなあ



すごい大きい氷 ほーら！



見てみて！四つ葉のクローバー

なって私も一緒に思い巡らすことができるから…。

「学力を本物にする地域のちから」

学力は、いつ、どこへ行っても通用する普遍妥当なものが、学力だとお考えになる人が多いと思いますし、学力をつけるために取り入れられることはドシドシ取り入れ、進学・就職の希望を持たせるように育てるべきだとおっしゃる方もいると思います。このふたつのどちらをとっても、決して間違ったことだとも反対することだとも思いません。ただ、このもっともなことを「ちゃんと本物」にしていくためにはどうしたらいいのか…そこを「ないがしろにしたり」「疎かにしたり」しては「勉強なんて面白くもなんともない！」し、自分の「血や肉」になるはずがないと、私は常々、強く感じています。

学校で先生に言われたことをそのままやって、できたからといっても、子どもは満足などしません。「**学力は、子どもたちの生活の中に消化されてはじめて【学力】となる**」と東井義雄氏は語っています。

加えて東井氏は「生活」には明らかに地域性がある。村の子には村の子の生活があり、「生活の論理」がある。それが子どもの生活に消化された時、地域のにおいを持つてくるのは当然である。ひがみ心の強いものは、どのように美しい親切もひがんでとってしまうだろうし、素直な生き方をしているものは、悪意をさえ、善意にうけとっていきだろう…と。よくも悪くも育つ環境がその子の生きざまを決めるのだと思います。

以前、村内で、自転車の乗り方が危ない子に、地域の方が注意してくださったとお聞きました。また、ボランティアで読み聞かせを募集したところ、お忙しい中にもかかわらず、時間を作って学校へ駆けつけてくださっている皆様もおられます。「子どもは宝」の意味を誤解せず、理解し、地域で育てる論理が、この野沢温泉には理屈抜きで染みていると感じています。